

『時事直言』 No.1523 2022年1月13日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313 [mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/) [Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

30年間日本経済を「死に体」にしたのは誰だ

これは近々出版する「小冊子」Vol.125の第三章の副題である。

「日本はアメリカの属国」とは鳩山由紀夫元首相の公言である。

第一章の「真珠湾攻撃を騙し撃ちに画策した者たち」を読むと、何故日本がアメリカ好みの民主国家になったかがよくわかるはずだ。

日本はアメリカにとって最高の同盟国で、「日米安保は日本の安全の要」なのだから日本がアメリカの属国と言うのは言い過ぎではないか、と思うのは当然である。

戦後の日米関係の事実だけを基に、「日本がこれでアメリカの属国でなくて何なんだろうか」と易しく解説している。

お読み下さればきっと「なるほど、そういうわけだったのか」と納得されるだろう。

アメリカと日本の関係は「女王蜂と働き蜂の関係」と同じだと書いた。

働き蜂は自分が生きるのに必要なだけの蜜を残して残りは総て女王蜂に捧げる。

日本は30年間働き蜂の様に一生懸命働き多くの富を創造しかつ蓄えたが、何十年も同じ賃金で、同じ生活をして、物価も全く上がることなく、蓄積した富は総てアメリカに捧げてきた事実を解説している。(2,000兆円の国民金融資産は本物をアメリカに捧げた後の抜け殻だ)

日本は儉約は美德、アメリカは贅沢が美德。

アメリカは日本からの不労所得で贅沢三昧。

アメリカの為に働いているとも知らないで二宮尊徳を手本にする日本。

日本が儉約をすればするほど、アメリカの不労所得が増え、より贅沢が出来る。

マッカーサーという虎の威を借りて日本をアメリカ好みの民主国家にした吉田茂、そしてアメリカ財務省の威を借りて日本経済をアメリカ好みにする財務省(大蔵省)。

今まで誰も手が付けられなかった「日本の中身」を分かり易く解説することにした。

とにかく日本人なら「今の日本は我々の日本なのか」から知って頂きたい。

暇な時でいいから、何度も繰り返し読んでいただきたい。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」をFAX又はe-mailにて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、

HP : www.chokugen.com まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。